



News Release

報道関係者各位

2018年10月25日

モデルの国木田彩良さん、ロボットクリエイターの高橋智隆さんが
日本開催に先駆けてパリの本校で「レコール」を体験
Web 動画予告編が本日10月25日(木)より公開
～魅惑的なジュエリーの世界が教えてくれた新たな発見とは～

フランスのハイジュエリーメゾン、ヴァン クリーフ&アーペルがサポートする「レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校」は、東京 外苑前に位置する京都造形芸術大学 外苑キャンパスで2019年2月23日(土)～3月8日(金)に開校致します。

開校に先駆け、「レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校」の世界観や魅力をお伝えするため、Web動画を制作し、10月25日(木)より予告編を公開します。この予告編動画を含め、3回に渡り、随時公開していく予定です。



URL : <https://youtu.be/qXBudXmAgKI>

本動画は、国木田独歩の玄孫で、パリ育ちのモデル国木田彩良さんと気鋭のロボットクリエイター高橋智隆さんの2人が「パリのレコール本校」でのカリキュラムを通じて、魅惑的なジュエリーの世界を体験し、様々な学びや気づきを得て、心境の変化を捉えたドキュメンタリー動画です。動画内では、「レコール」で学べる芸術史や伝統的な手仕事（サヴォアフェール）のコースを受講している様子やインタビュー取材が盛り込まれています。

本動画を通じて、国木田さんは、迷える女性視点、高橋さんは、作り手視点から学び続けることの「意義」や「自己発見」、「ものづくりの大切さ」を伝えてまいります。



受講後のインタビューで、国木田さんは、「私も自分の内面を磨いて『本物』になっていきたい。勉強することは無限にある」と改めて自分を見つめ直す機会となったことを語って頂きました。また、高橋さんは、「ロボットのプロトタイプを作る時と、ハイジュエリー制作はとても似ている」と、自身のロボット製作との共通点を見出したことを教えて頂きました。

本編動画については、国木田さんご出演の「国木田彩良”レコール”に体験入学～「勉強することはアンリミテッド」」は11月1日(木)より公開、高橋さんご出演の動画は、近日公開予定です。

【ティザー動画 概要】

- ・秒数 : 29秒
- ・出演 : 国木田彩良さん、高橋智隆さん
- ・公開日 : 2018年10月25日(木)
- ・URL : <https://youtu.be/qXBudXmAgKI>

【本編動画 概要】

- ・タイトル: 「国木田彩良”レコール”に体験入学～「勉強することはアンリミテッド」」
- ・秒数 : 3分4秒
- ・出演 : 国木田彩良さん
- ・公開日 : 2018年11月1日(木)

- ・タイトル: 「高橋智隆の「レコール体験記」(仮)※1
- ・秒数 : 3分(予定)
- ・出演 : 高橋智隆さん
- ・公開日 : 2018年12月18日(火) 予定



(※1)タイトルは変更となる場合がございます。

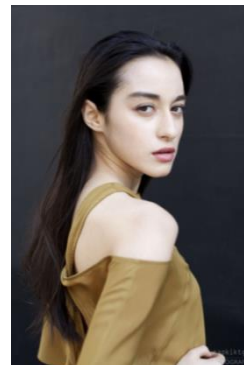


【出演者プロフィール】

■国木田彩良さん

1994年ロンドンで生まれ、1歳の時にパリに移住。
高校卒業後、パリのモード学校スタジオ・ベルソーでファッションデザインを学ぶ。2013年来日、モデル活動を始める。明治の文筆家で婦人画報の創刊編集長であった国木田独歩の玄孫で、国木田虎雄のひ孫。父はイタリア人実業家、母は日本人の元女優でジャーナリストの国木田吾子。

Instagram : <http://www.image-tokyo.co.jp/models/saila-kunikida/>



■高橋智隆さん

株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長。東京大学先端科学技術研究センター特任准教授、大阪電気通信大学総合情報学部メディアコンピュータシステム学科客員教授、福山大学工学部電子ロボット科客員教授、ヒューマンキッズサイエンスロボット教室アドバイザー、ロボット専門店ロボベース顧問。グロープライド株式会社社外取締役。

ホームページ : <http://robo-garage.com/cr/>



【「レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校」について】

2012年、フランスを代表するハイジュエリーメゾン、ヴァン クリーフ&アーペルの支援のもと、パリのヴァンドーム広場に創設されたレコールは、ジュエリーと宝飾芸術の世界について初心者からプロの鑑定家まであらゆる方々に門戸を開いた、世界で初めての学校です。通年、パリ本校において講義を提供する（英語、フランス語）ほか、東京、香港、ニューヨーク、ドバイにおいて特別講座を開催し、世界中に学びの場を広げています。当校はまた、展覧会や出版物、美術館や他の学術機関とのパートナーシップ、オンライン教育ビデオ、ジュエリーと宝飾芸術に関するライブラリーの公開などを通じて、さまざまな形で研究支援を行っています。